

令和7年10月24日号

◇令和7年度全国学力・学習状況調査の結果

令和7年度全国学力・学習状況調査の本校、三重県、全国（公立）のそれぞれの平均正答率です。

	本 校	三 重 県	全 国
国 語	68%	66%	66.8%
算 数	56%	57%	58.0%
理 科	58%	56%	57.1%

国語では、「話すこと・聞くこと」領域の「思考・判断・表現」の観点であるインタビューの様子の一部から小森さんが発言した目的として適切なものを選択

する問題において、自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができる児童が多かった反面、「話すこと・聞くこと」領域の「思考・判断・表現」の観点において、話し合いの様子における小森さんの発言を説明したものとして適切なものを選択する問題において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することに課題がある。以上のことから、自分の目的や意図に応じて、相手から聞きたいことを引き出すためには、集めた材料を分類したり関係付けたりして、どのようにインタビューを進めたらよいかを考えることが重要である。実際にインタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動を充実させることが必要である。

算数では、「データの活用」領域の「知識・技能」の観点において、示された表から、「春だいこん」や「秋冬だいこん」より「夏だいこん」の出荷量が多い都道府県を選ぶ問題では、簡単な二次元の表から、条件に合った項目を選ぶことができる児童が多かった反面、「変化と関係」領域の「思考・判断・表現」観点において、10%増量したつめかえ用のハンドソープの内容量が、増量前の何倍かを選ぶ問題では、「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを表すことに課題がある。以上のことから、二つの数量の関係に関わる数学的活動を通して、思考力、判断力、表現力等を身に付けるために、日常の事象における数量の関係に着目し、図や式などを用いて、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係との比べ方を考察し、それを日常生活に生かす。そのためには、日常生活で百分率が用いられている場面において、倍を使って捉え直し表現できるようにすることが必要である。

理科では、「地球」領域の「思考・判断・表現」が観点である赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込む時間の違いを調べる実験の条件について、コップAの土の量と水の量から、コップBの条件を書く問題において、赤玉土の粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、赤玉土の量と水の量を正しく設定した実験の方法を発想し、表現することができる児童が多かった反面、「エネルギー」領域の「知識・技能」の観点であるベルをたたく装置の電磁石について、電流がつくる磁力を強めるため、コイルの巻数の変え方を書く問題において、電流がつくる磁力について、電磁石の強さは巻数によって変わることを知識が身に付いているようであるが、「200回巻く」という誤回答が多くあり、授業や実験において得られた結果を回答している児童が多かった。以上のことから、電流が作る磁力について、電流の大きさや向き、コイルの巻き数などに着目しそれらの条件を制御しながら調べる活動を通して、電磁石の強さは、電流の大きさや導線の巻数によって変わることを身に付けるとともに、実験から得られた結果を考察する過程を大切にしていける必要がある。

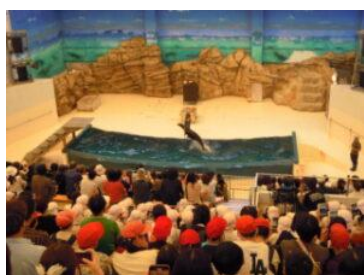
次に、児童質問紙の設問に対して、肯定的な回答で、集計分析すると、全国平均と大きな差異は見られないが、本校の「当てはまる」の回答率は、全国平均と比較すると低いものがあり、今後の取組で児童がそれぞれの設問に対して、自信をもって回答できるように授業改善や生活改善をしていく必要があると考えています。

また、探究的な学びの機会や協働学習を教科学習にも積極的に取り入れて学びあいを深める中で、自分で考え、判断し、表現する力をつけていきたい。そのために、学級の雰囲気や環境づくりとして、「なかがわタイム」の取組を軸にしながら、教科学習をすすめていく。普段の教科授業のなかでの発表についても論理的に説明する力の育成を図る必要がある。基礎基本的な学習・補充的な学習については、ICTを活用して個別最適化の学習に取り組み、各教科において、生活の中で必要とする力を活用できるような授業づくりをしていく。将来、一人一人の選択の幅が広げられるよう、誰一人取り残さない取組を続けていきたいと考えています。

◇社会見学

9月26日、1年生は、「北部学校給食センター」と「ごかつら池どうぶつパーク」に行きました。給食ができる様子を見学したり、実際に使っている調理道具を体験したりしました。多気町に移動し、カラカルやアルパカ、フラビーなどの動物を見学しました。

10月17日、2年生は、「鳥羽水族館」に社会見学に行きました。アシカーショーを見学した後、各グループで、ジュゴンやラッコなど、たくさんの水中や水辺の生き物を見ることができました。



◇「なかがわ体育祭」「中川地区文化祭」

10月13日に本校運動場で嬉野中川まちづくり協議会主催の「なかがわ体育祭」が開催され、本校児童もたくさん参加をしてくれました。また、11月16日には、嬉野中川コミュニティーセンターにおいて、「中川地区文化祭」が開催され、全校児童の作品を展示しますので、ご来場をお待ちしております。また、今年から中川小学校の体操服リユース会のブースが新設されます。詳しくは、きずなネットで、後日配信します。



◇お知らせ◇

○松阪市小中学校全体防災訓練について

10月25日～26日、各ご家庭において、「松阪市小中学校全体防災訓練」に取り組んでいただきます。今年度は、被災した場合、どこに避難するかなどの「家族の約束事」を決めたり、確認していただきます。訓練後は、振り返りシートを記入し、ロイロノートで担任まで、画像を送ってもらうこととなっていますので、ご協力をお願いいたします。

○「嬉野文化祭」作品展示

「嬉野文化祭」が10月31日から11月2日、午前9時から午後6時まで（ただし、2日は午後3時まで）嬉野生涯学習センターにて全校児童分ではありませんが本校児童の作品や嬉野地域の各校・園の作品が展示される予定です。

○「中川小学校運動会」の開催について

11月8日に「中川小学校運動会」を開催します。それぞれの学年による徒競走と団体競技、そして、2学年合同による表現運動を行います。参観については、ご家族の方に低・中・高学年の入替制で実施します。各学年の運動会に向けた練習も始まることで、保護者のみなさんには、服装や持ち物などさまざまなお願いをさせていただくこととなりますが、ご協力をお願いいたします。また、近隣住民のみなさんには、練習期間や当日も含め、たいへんご迷惑をおかけすることになり、申し訳ありませんが、ご理解・ご協力をお願いいたします。